

2021年 第45週（11月8日～11月14日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) 感染性胃腸炎の発生が続いています
 - 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生が続いています
 - 3) 豊岡健康福祉事務所管内で疥癬が発生しています
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 油断せず、感染再拡大に十分な警戒を
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）

（表1）

	疾患名	定点当たり患者数			増減 (今週-先週)
		今週	先週	先々週	
1位	感染性胃腸炎	4.00	1.50	2.00	+2.50
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.50	0.00	-0.50
3位	突発性発疹	0.50	0.50	0.50	0.00

- 2) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）
報告はありません

2 発生から見る注意点

1) 感染性胃腸炎の発生が続いています

高齢者等の施設内での嘔吐や下痢等の症状見られた場合は、感染性胃腸炎を念頭に置き、対応をお願いします。症状消失後も1週間～1か月程度、便中にウイルスが排出されていますので、引き続き注意が必要です。

感染性胃腸炎とは（兵庫県ホームページ）

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/hw12_000000035.html

2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生が続いています

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はいずれの年齢でも起こり得ますが、学童期の小児に最も多く、冬季および春から初夏にかけての2つの報告数のピークが認められています。

- ・接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多い疾患です
- ・突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。
- ・予防としては、患者との濃厚接触をさけることが最も重要です。うがい、手洗いなどの一般的な予防法も励行しましょう。

3) 豊岡健康福祉事務所管内で疥癬が発生しています

疥癬は、ダニの一種であるヒゼンダニ（Sarcoptes scabiei）が皮膚に寄生することで発生する皮膚病です。腹部、胸部、大腿内側等に紅斑、丘疹、鱗屑を生じ、激しいかゆみを伴います。直接

的な接触感染の他に、衣類やリネン類等から間接的に感染する例もあります。

疥癬の病型には通常の疥癬と重症の疥癬（通称「角化型疥癬」）があります。角化型疥癬の感染力は強く、集団感染を引き起こす可能性があります。

疥癬虫は皮膚から離れると比較的短時間で死滅します。また、熱に弱く、50℃、10分間で死滅します。

疥癬の予防のためには、早期発見に努め、適切な治療を行うことが必要です。疥癬が疑われる場合は、直ちに皮膚科専門医の診察を受け、衣類やリネン類は熱水での洗濯あるいは乾燥機による乾燥を推奨します。ダニを駆除するため、布団等も定期的に日光消毒もしくは乾燥させます。

介護現場における感染対策の手引き（第2版） 令和3年3月

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000814179.pdf>

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第45週は71人（先週90人）の新型コロナウイルス新規感染者で、減少が継続していますが、今後年末年始を控え、社会経済活動の活発化に伴い「第6波」の流行が懸念されています。政府は「第6波」への対策として、3回目のワクチンの接種、重症化を抑える飲み薬の実用化、医療体制の強化、緊急事態宣言に関する新たな指標などを掲げています。特にワクチンは発症と重症化の予防に効果があるとされています。現状の感染改善状況を継続するためにも、ワクチン接種への積極的な参加、またマスクの着用、手洗いや手指消毒、3密の回避等感染防止対策を徹底し、家庭内では定期的な換気やドアノブなど共用部分の消毒、タオルや食器などの共用を避けるなど、感染防止対策をお願いします。

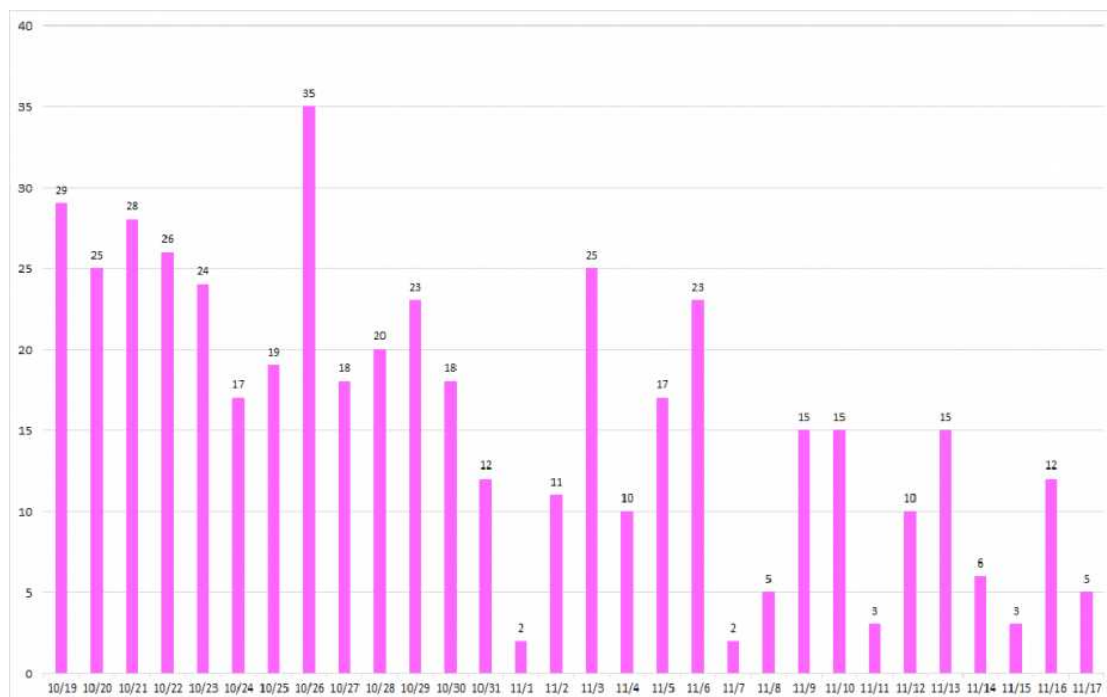
1) 油断せず、感染再拡大に十分な警戒を！

社会経済活動の活発化に伴い、感染再拡大への警戒が必要です。

【直近1週間平均患者数】

○直近1週間平均 : 7.7人

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（10/19～11/17）】



兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

<皆様へのお願い>

落ち着いた社会生活を取り戻せるよう、感染防止対策の徹底をお願いします。

- 1 体調異常があれば、登校・出勤を控えましょう。
- 2 感染対策を徹底している飲食店を利用しましょう。
- 3 飲食時でも会話の際にはマスクをつけましょう

会食は同一テーブル4人以内、2時間程度にしましょう

- 4 ワクチン接種を積極的に受けましょう

ワクチン接種後も引き続き、**マスクの着用、手洗い、人と人の距離の確保**など基本となる対策の徹底をお願いします。

感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）



新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9:00~17:30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

<問合せ先・予約先>朝来健康福祉事務所

電話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メール asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実施日 12月実施日 12月2日(木)、12月16日(木)